

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 城山小学校区



令和5年8月17日（木）、自治会や老人会、育友会、民生・児童委員など12人の皆さんにお集まりいただき、城山小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

最初の自己紹介では、高齢者サロンでの取組み、爆心地に近い地域として力を入れている平和活動など特色ある活動や、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいた意見

①スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーについて

スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーを増やしてほしい。

市の考え方・回答

スクールソーシャルワーカー（SSW）について、国は「1中学校区での勤務:3時間/週」を基準としています。長崎市のSSWは週30時間勤務で、国基準で考えると10中学校区/1人を担当できますが、実際は3～5中学校区/1人の担当であるため、国の基準を満たしています。しかしながら、学校ごとにSSWのニーズにばらつきがあるため、SSWの業務の平準化等を検討していきます。

スクールカウンセラー（SC）について、国は「全公立小中学校への全校配置と、週1回概ね4時間程度の配置」を基準としています。長崎市では「長崎県SC配置事業」により、令和5年度から中学校区ごとにSCが配置される「全校配置」が実現しました。しかしながら、長崎市の1校あたりの配置時間は約2.3時間/1週となっており、国の基準には至っていないため、全ての学校において教育相談へのニーズに十分に答えるために、さらなる配置時数の確保及び、各学校の実態に応じて配置時数を柔軟に配当できるよう、長崎県に継続的に要望を続けているところです。

②コミュニティ・スクールについて

コミュニティ・スクールを開設してほしい。開設のためのコーディネーターを育成してほしい。

市の考え方・回答

コミュニティ・スクールの導入にあたっては、学校と地域（PTA役員、保護者、地域住民等）の皆さんに趣旨を理解いただいたうえで、皆さんと教育委員会で学校や地域の実情に合わせて協議を進めていくこととなります。ご不明な点がございましたら学校教育課（095-829-1195）へご相談ください。

③子育て支援について

保護者が孤独であるとよく感じる。保護者が学び続けられるしくみが作れないか。

市の考え方・回答

生涯学習及び家庭教育の取り組みとして、保護者同士や保護者と教職員が楽しく学び合える「ファミリープログラム」を長崎市PTA連合会と協力して実施しています。これは、各学校の学級懇談会などの場面に講師を派遣して、子育ての悩みを分かち合ったり、上手なほめ方叱り方などを参加者同士が語り合いながら子育てのヒントを得られるプログラムとなっており、保護者の孤独感の解消にもつながるものです。引き続き、より多くの学校で取り組めるよう努めてまいります。

また、子育て支援の取り組みでは、出産に備える両親学級や、育児学級などにおいて乳幼児期の成長段階に応じた正しい知識の普及と参加者同士の交流の場を提供しています。また、親子で遊び、交流するお遊び教室を実施しているほか、市内17か所に子育て支援センターを設置し、身近な場所で相談ができる環境を整えています。さらに全ての妊婦と子育て家庭に保健師等が寄り添い、誰一人孤立することのないよう伴走型の支援を行っています。

このような教室等も、タイミングがあわず参加がかなわなかったり、情報が得られていなかったり、孤独を抱える家庭に届くためには、地域の皆さんと情報を共有するなど、地域との連携は欠かせません。講座などの形でなくとも、地域の方々との出会いの中で学んだり、相談したりできるよう、地域の皆様に協力いただきながら、様々な場面でのつながりが増え、孤独が解消できるよう努めてまいります。

そのほか、「自治会など地域活動の担い手が減っている」、「世代ごとの意見交換の機会がほしい」、「自治会、育成協など地域の横のつながりを深めていきたい」などのご意見をいただきました。いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長のひと言

学校を核とした地域づくりや地域の担い手不足の問題についてなど、貴重なご意見をお聞きすることができ、有意義な意見交換となりました。

人口減少、少子高齢化の時代だからこそ、地域コミュニティのつながりを強くして、助け合い、乗り越えていくことが必要なのかなと感じました。



参加者からの感想

様々な課題・提案が出たので、一つ一つ具体的な解決に向けて、市と地域と一緒にやっていければよいと思います。

子育て世代の問題を市長と一緒に考えることができたのは大きいと感じた

市長が熱心にお話を聞いてくださって、とても有意義でした。

地域の方と世代を超えて話すことが久々にできました。

